

外来担当医一覧表

平成25年1月1日現在 国立病院機構天竜病院

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土・日
内科	8番	(一般内科・呼吸器) 白井	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 永福(建)	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 白井
	11番	(一般内科・糖尿病) 林	(一般内科・呼吸器科) 大場	(一般内科・糖尿病) 永福(未)		(一般内科・消化器) 栗山
	12番	(一般内科・神経内科) 鎌田	(一般内科・神経内科) 西山	(一般内科・神経内科) 福徳	(一般内科・神経内科) 石川	(一般内科・呼吸器) 三輪
	13番	(循環器) 受付13:00~15:00 宣原				
	7番					(一般内科・呼吸器) 金井
	初診	金井・西山・藤田	藤田・福徳・三輪	藤田・石川・林	西山・大場	永福(未)・大場
小児科	(小児一般) 伊熊	(小児一般) 豊田	(小児一般) 鈴木	(小児一般) 豊田	(小児一般) 鈴木	
泌尿器科 (一般泌尿器・腎不全) 再診のみ			受付12:30~16:00 再診のみ 大塚	受付13:30~16:00 再診のみ 杉山		
児童精神科 初診・再診とも「完全予約制」です。	1 (51番)		近藤	堀田	近藤	
	2 (52番)	加藤	高貝		加藤	高貝
	3 (53番)	内山	内山		内山	
	4 (55番)			杉山		
眼科			受付13:30~16:30 岡和田・田邊			
皮膚科 毎週水曜日のみ			受付8:30~11:00 内山			
整形外科 第1・第3木曜日のみ				受付13:00~15:00 高橋		

休診
急患の方は診察をいたします。
(事前にお電話ください)

*児童精神科:初診・再診とも「完全予約制」です。
*当院は、よりよい医療を患者様に提供できるようにと、病診連携を通じて近隣の開業医の先生方とよく連絡を取り合い診療を行っています。

各種相談担当医一覧表

相談区分	実施日	相談内容	担当者
禁煙外来	毎週木曜日 (午後)予約制	・禁煙希望患者様に対し、禁煙までの診療指導。 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
もの忘れ外来	毎週月曜日 (午後)予約制 (初診のみ)	・認知症の早期診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	第一診療部長 石川邦子 神経内科医長 鎌田 皇 神経内科医師 西山治子
小児心臓外来	毎週月曜日 予約制	・心疾患の相談や検査、治療。 ・学校心臓検診など。	療育指導科長 伊熊正光
小児生活習慣病外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・小児肥満、糖尿病、高血圧の相談や検査、治療。 (最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
小児心身症外来	月、木曜日 (午後)再診・予約制	・慢性的な頭痛や腹痛、夜尿症など、慢性疾患や長期間持続する症状の相談や検査、治療。(最初は午前中の外来でご相談下さい。)	療育指導科長 伊熊正光
乳児健診	月、木(午前中)	・乳児健診(静岡県母子保健事業にかかる) 4ヶ月、10ヶ月健診。	療育指導科長 伊熊正光
予防接種	毎週月曜日 (午前)予約制	・三種混合、麻しん、風しんなどの定期予防接種の実施。	療育指導科長 伊熊正光
医療相談	月~金曜日	・医療費の支払、各種健康保険の手続き、障害者申請の方法。 ・療養や社会復帰の際の心配ごと等の相談。	医療社会事業専門員 江島佳奈
栄養相談	月~金曜日	・食事療法の具体的な方法、生活習慣病予防のための食事の献立。 ・食物の栄養やカロリー等の説明や相談。	管理栄養士 小馬瀬明義、西川真依子 武居真里絵
小児発達相談	月~金曜日	・乳幼児期のお子さんを対象。 ・発達が気になるお子さんの相談・支援。	心理療法士 高井義文

*希望される方は、医事係受付までお問い合わせ下さい。(平日の8時30分から17時15分まで)

予約検査一覧 ④消化器内視鏡・胃透視・注腸造影 ⑤気管支鏡 *検査は受診のうえ、予約が必要です。



りゅうりゅう

皆様あけましておめでとうございます。副院長の白井です。
天竜病院も昨年病棟ならび療育訓練棟が完成し、職員一同、新たな気持ちで頑張る所存です。いまで行ってきた地域医療に加えて、児童精神・神経難病・重度心身障害者の医療をさらに充実させていきたいと思ひます。今後とも少しでも皆様のお役にたてるよう努めてまいりたいと思ひます。ぜひご期待ください。

国立病院機構 天竜病院

浜松市浜北区於呂4201-2 TEL(053)583-3111(代) FAX(053)583-3664



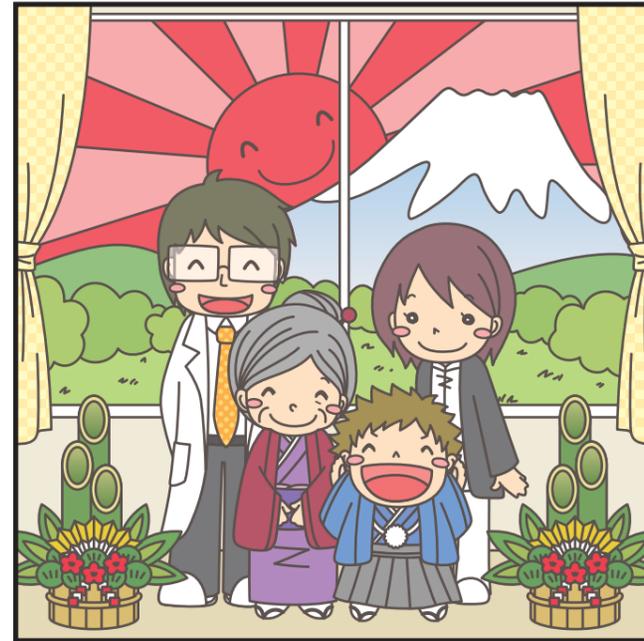
かがやき

vol.53
2013.1月発行

http://www.hosp.go.jp/~tenryuu

「七つのまちがい探し」

*解答は中面をご覧ください。



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年、当院にとって新病棟完成という大きな節目の年でした。当科でもいくつかの大きな変化がありました。児童精神科に特化した病棟が整備されたことで入院が必要なお子さんに対してタイムリーな治療導入が可能となり、他院からのご紹介も増えております。入院中の教育保障については県立天竜特別支援学校の先生がたにこれまでと同様に多大なご協力をいただいております。また、児童相談所などの行政機関との連携を強化しています。医療サービスはこれで十分ということではなく、永遠に未完成であるべきだと思います。これからもより良い治療環境を提供できるよう努力してまいります。

児童精神科部長 高貝 就

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。
昨年は、新病棟の完成にともなう入院患者さんの引越で始まった感じでした。絶対にミスがあつてはならない状況下、引越し前後は、ピリピリした緊張感が院内に満ちていました。その後、新病棟の前に療育訓練室やスタッフスペースを入れた三階建ての新しい建物が加わり、現在は、古い建物を撤去しているところです。景観は相当変わるものと思ひますが、新病棟からの眺めは絶景で、自慢の療養環境だとひそかに思っています。一方、若い頃から旧病棟で働いてきたスタッフからは、「私の青春が詰まった建物(旧病棟)がなくなった…」との感傷的な言葉もあつたとか。外来の患者さんからは、「こつち(外来棟)はまだ新しくならんのかね?」と聞かれます。外来棟の方は、もう数年待って下さい。最優先は防災対策で、病棟の免震化を終えた今年には、飲料水の確保に万全を期すため、複数の受水経路を準備します。また、今年より来年にかけてはIT化(電子カルテなど)を導入します。近代化のすべがよいとは思ひませんが、利用頂ける患者さんのためになると考えられることは、どんどん取り入れていくつもりです。今年もスタッフ一同が成長し、さらに皆様のお役にたてる病院になつていきたいと思ひます。どうぞ、皆様のこの一年がよいものでありますように。



国立病院機構天竜病院
院長 早川 啓史

